



福岡県東峰村

議会ウォッチ

10月号
2018 OCTOBER



ココに注目!

災害後、事業は適切に行われたか?《トピックス》 P2

工事はどこまで進んだか?《復旧への道のり》 P4

どげんなっちゃうと?《一般質問》 P7

表紙 / 「村の大先輩に聴く」より(12ページ)

議会ふしぎ発見!

年度の始まりが4月からなのに決算はなぜ9月議会なの？

A. 出納整理期間を経て、決算書の作成等を行うため

村の予算は4月1日から翌年3月31日までの1年間を「会計年度」として区切り、収入(歳入)と支出(歳出)が行われます。ある会計年度での支出は、その年度の収入で賄われることが原則です。しかし、電気料等は3月分の請求が4月になるので、会計年度終了後の4月1日から5月31日までを前年度の現金収支の整理を行うための期間(出納整理期間)としています。

■決算の調製

出納閉鎖日(出納整理期間最終日)後、会計管理者は、決算書等の書類を作成し村長へ提出。

■監査委員の決算審査

監査委員は、決算書や付属書類を審査し、意見書を作成。

■議会で審議(9月議会)

村長は、決算書、監査委員の意見書、主要な施策の成果説明書を村議会に提出。議会では、決算の認定を審議します。

■村民への公表

村長は、議会の認定を受けた決算の概要を村民に公表します。

※県や市町村の会計年度、決算などは、地方自治法に基づき行われています。

決算委員会まとめ

災害関連

◆農道や里道等の復旧

議員 農道や里道、山林の作業道は昨年及び今年の災害で被害が大きくなっている。その対応策は。

災害対策室 国の査定等に乗らないものは村の経常的な維持管理経費で支出していく。その場合、公共性のあるものとなるので複数利用者や共同施設等の制約がある。他には碎石やコンクリートを現地支給し、利用者や地域の共同作業で補修する形もある。

◆財政調整基金の積立

議員 昨年の災害では一時約9億5千万円の基金取り崩しが行われている。財政規模から現在の積立額の保持も難しいとのことから、災害対策基金への組み替えは行わないのか。

総務課 あと数年復興のために必要な一般財源を精査しながら災害対策基金への組み替えを検討していく。

観光

◆道の駅第2販売所の募集

議員 申込状況はどうなっているか。

農林観光課 募集は2回行ったが、現在まだ決まっていない。先の運営を考えて応募を見送られる実情があるので、必要があれば使用料と利用条件等についても考え直していきたい。

子育て

◆子育て祝い金

議員 申請書類を提出すれば、口座に振り込まれる形となっているが、村からお祝いのメッセージを伝えるべきではないか。

村長 ぜひ取り組んでいきたい。

地域づくり

◆地域おこし協力隊

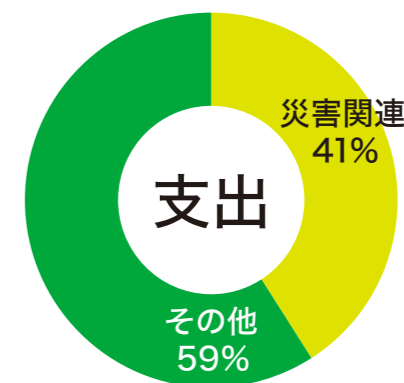
議員 外部アドバイザーとはどのような仕事を行っているのか。(金額86万4千円)

企画政策課 主に東峰テレビ担当の協力隊が着任している間アドバイスするため、技術等の講師と資料費、研修に行く交通費などを想定して報酬を支払っている。現在、東峰テレビを運営する(株)プリズムに委託している。

災害復旧事業を最優先に執行されました

一般会計

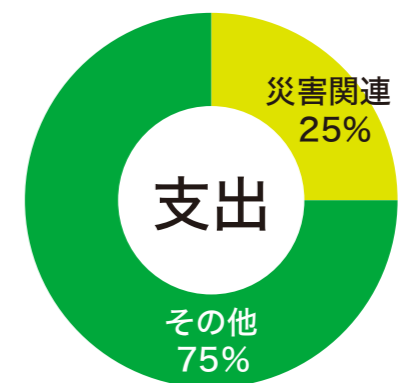
収入総額 46億3257万円(歳入)
支出総額 44億3704万円(歳出)
(内 災害関連予算 18億450万円)



災害関連予算割合

簡易水道事業特別会計

収入総額 2億8759万円(歳入)
支出総額 2億8759万円(歳出)
(内 災害関連予算 7229万円)



災害関連予算割合

国民健康保険事業特別会計

収入総額 4億1535万円
支出総額 4億1528万円

後期高齢者医療特別会計

収入総額 3951万円
支出総額 3909万円

災害後に延期となった主な事業

イッピンプロジェクト事業

農産物等の6次化を推進し、村の特産品を新たに生み出す事業。

トーキコーディネーター事業

小石原焼・高取焼の地域商社設立に向けての事業。

水源の森交流館事業

旧小石原小学校を多目的な施設にするための改装事業。

旧宝珠山小学校運動場芝生化工事

旧宝珠山小学校の運動場を芝生化する事業。

9月定例会
(9/7~14...8日間)

[本会議]

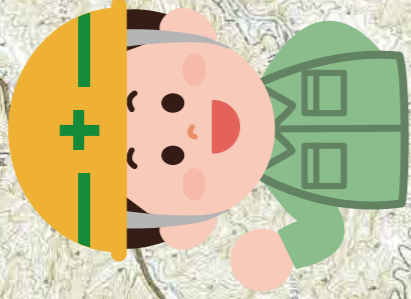
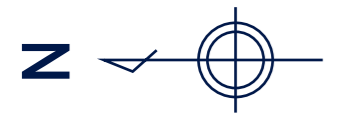
7日・10日 一般質問
12日 議案審議

[決算審査特別委員会]

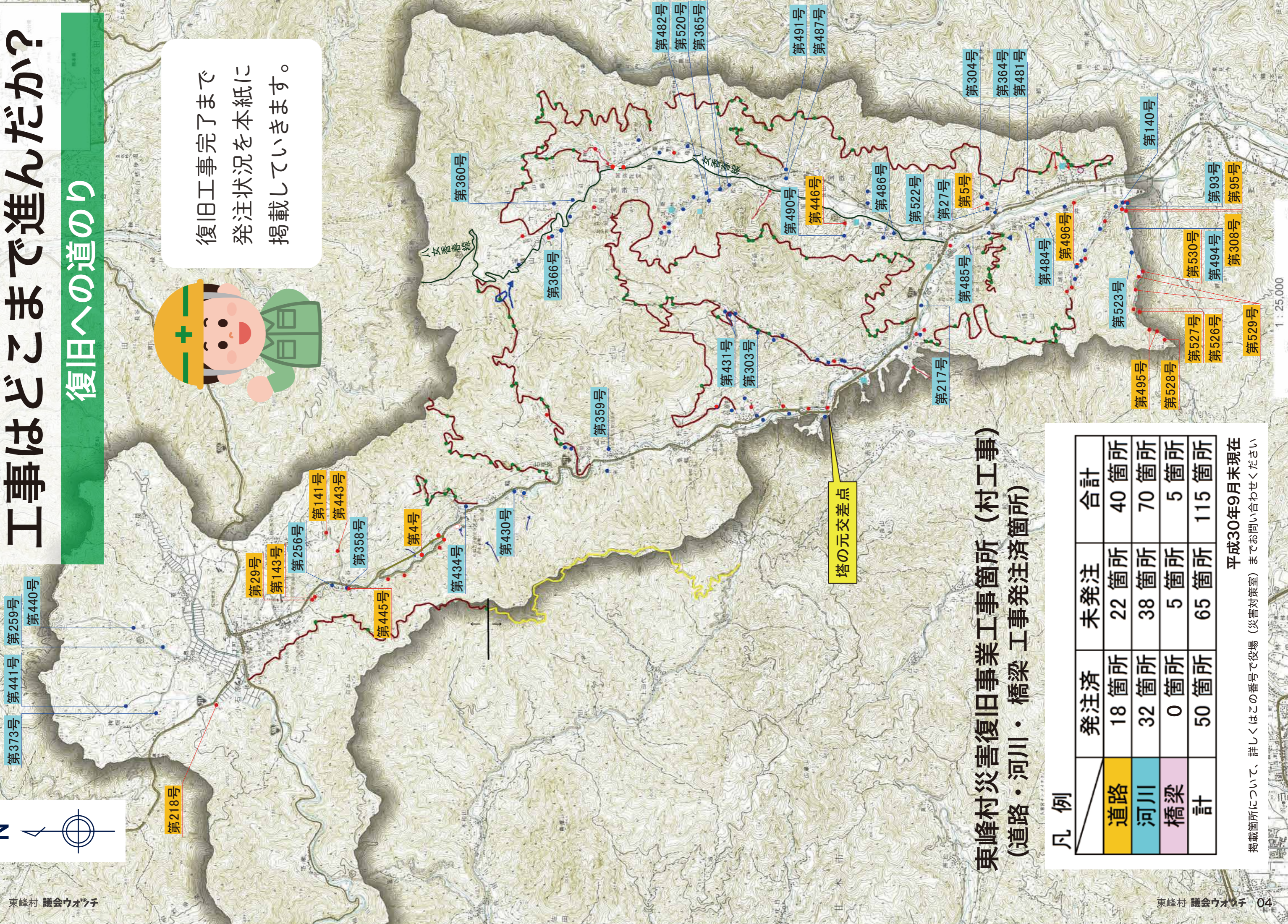
10日・11日 質疑
12日 討論・採決

工事はどこまで進んだか？

復旧への道のり



復旧工事完了まで
発注状況を本紙に
掲載していきます。



東峰村災害復旧事業工事箇所（村工事） （道路・河川・橋梁 工事発注済箇所）

凡例	発注済	未発注	合計
道路	18箇所	22箇所	40箇所
河川	32箇所	38箇所	70箇所
橋梁	0箇所	5箇所	5箇所
計	50箇所	65箇所	115箇所

掲載箇所について、詳しくはこの番号で役場（災害対策室）までお問い合わせください
平成30年9月末現在

どげんなっちゃうと？

一般質問

1. 梶原 光春 議員
国県の災害復旧工事の発注状況は
2. 大蔵 久徳 議員
今年の避難所運営は順調に行われたか
3. 高橋 弘展 議員
災害後の観光に対する総合的な計画は
4. 梶原 伯夫 議員
観光にいぶき館等を使えないか
5. 黒川 隆康 議員
東峰学園へのエアコン設置は
6. 長澤 貞義 議員
災害により流失した橋の架設経緯は
7. 高倉 寛視 議員
古民家再生事業の計画は

10

10

9

9

8

8

7

議員 農地復旧の場合、表土の確保はできているか。

議員 農地復旧の進捗と営農組合への説明はいつ頃か。
村長 査定210件中43件発注済、秋以降85件発注予定。残りは来年度発注予定。県の河川工事等の関係で来年度終了となるかわからない。
災害対策室長 水利組合、中山間の組織の方に11月下旬に説明会を開く予定。



金剛野橋付近

議員 国県の災害復旧工事の発注と進捗状況は。
建設水道課長 河川・道路・砂防事業は全31ヶ所計画され、24ヶ所発注済、内8ヶ所完成済。県営河川も今後発注予定。隣接する農災工事とあわせて調整していく。
議員 祭りの起源や経過年数は把握しているか。伝承文化への補助を考えてもよいのではないか。
教育長 伝統的な文化行事などの保存には支援できるよう検討する。

災害対策室長 表土の確保は嘉麻市の方から予定。久留米方面からも確保している。



梶原 光春 議員

国県の災害復旧工事の発注状況は
建設水道課長 河川・道路・砂防事業は24ヶ所発注済

第6回臨時会(7月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧							伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
		条例	可決	東峰村行政不服審査会条例の制定について							○	○	○	○	○	-	○
	可決	東峰村税条例の一部を改正する条例の制定について							○	○	○	○	○	-	○	○	○
その他	可決	村道路線の認定について(宝珠山停車場線:延田団地付近)							○	○	○	○	○	-	○	○	○
補正算	可決	平成30年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第2号)について							○	○	○	○	○	-	○	○	○

第7回臨時会(8月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧							伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
		その他	可決	工事請負契約の締結について(大木川河川災害復旧工事)							○	○	○	○	○	-	○

第8回定例会(9月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧							伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫		
		補正予算	可決	平成30年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第3号)について							○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成30年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第1号)について							○	○	○	○	○	○	○	○	○		
決算認定	認定	平成29年度東峰村一般会計歳入歳出決算の認定について							○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	認定	平成29年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について							○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	認定	平成29年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について							○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	認定	平成29年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について							○	○	○	○	○	○	○	○	○		
その他	可決	福岡県介護保険広域連合の処理する事務の変更及び福岡県介護保険広域連合規約の変更について							○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	報告	平成29年度株式会社宝珠山ふるさと村決算状況報告について							報告議案のため採決は行いません										
	可決	「少人数学級推進などの定数改善」「義務教育国庫負担制度2分の1還元」にかかわる意見書の提出を求める請願書							○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	可決	「地方財源の充実・強化を求める意見書」の提出を求める請願書							○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	可決	工事請負契約の締結について(久毛川河川災害復旧工事)							○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	可決	工事請負契約の締結について(竹布川河川災害復旧工事)							○	○	○	○	○	○	○	○	○		
可決	工事請負契約の締結について(松ヶ平川河川災害復旧工事)							○	○	○	○	○	○	○	○	○			



大蔵久徳 議員

今年の避難所運営は順調に行われたか
— 村長 問題点はあがってないので適切に運営された

議員 避難所の中で高齢者、子どものみみ分けができたのか。
総務課長 仕切り等でプライベートの配慮は行ったが、明確な分け方はしていない。

議員 避難所での公費による食事提供の基準はあるのか。
総務課長 区長会で協議の結果、基本的には今後、避難所での食事の提供はしない。

議員 宝珠の郷での避難所運営は職員任せではなかったか。
総務課長 宝珠の郷職員1名と職員2名で運営を行った。

議員 旧宝珠山小学校を避難所の一つと考えられないか。
村長 常時管理を行っていないので色々な制約がある。

議員 社協の宝珠山支部として有



いずみ館 (指定緊急避難場所)

効に使うことはできないか。
村長 社協は手一杯やっているが、今後打合せをしたい。

議員 災害対策の県職員を旧宝珠山小学校に移動すれば便利ではないか。
村長 各課との打ち合わせ等で距離的、時間的な問題がある。現行の状態で災害復旧はやっていきたい。



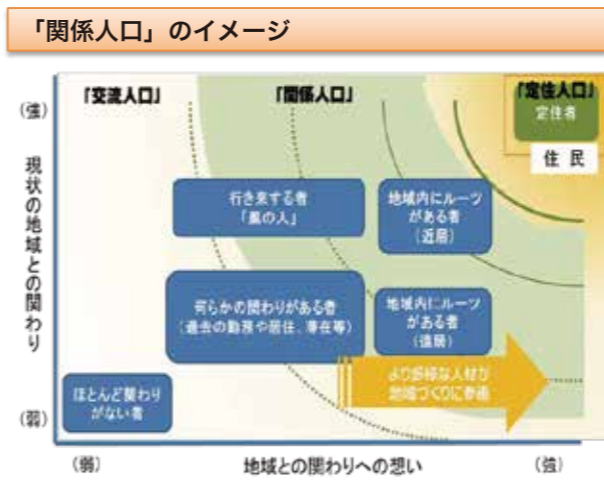
高橋弘展 議員

災害後の観光に対する総合的な計画は
— 村長 総合計画の施策を基本に実施している

議員 総合計画にあるガイドや体験プログラムを企画できる人材の育成は進んでいるのか。
村長 現在は特別行動を起こしていない。人材育成については重要性を承知している。

議員 宝珠山地域では以前粕谷西小学校との交流の中で民泊が行われていた。その後秋まつり等に訪れて村民と深く関わり、災害時にも村を応援していただいている。農家民泊への施策は。
村長 今行政としては手が出せない状態である。既存団体等を通じた農家民泊が描ければ、行政からも支援等させていただきたい。

議員 生まれ育った地域や両親の出身地等ふるさとを大切に想い、応援・貢献したい人々(関係人口)に対しアプローチする取り組みは。



梶原伯夫 議員

観光にいぶき館等を使えないか
— 村長 ほうしゅ楽舎の方をまず先に考えたい

議員 伝産館・いぶき館の作られた目的は。
村長 伝産館は、小石原焼の伝統的技法の継承、後継者確保・育成と振興を図り、本村の文化向上に寄与するため。いぶき館は、文化・自然資源を活かして交流人口拡大による需要を創り、地域経済活動の向上と村の活性化を図ること。

議員 いぶき館の活用について伺う。
村長 補助金により建設されたので、用途変更等の場合、指定年数を経過しないと補助金を返還しなければならぬ。まずはほうしゅ楽舎の方を災害保険を使って整備していきたい。



黒川隆康 議員

東峰学園へのエアコン設置は
— 教育長 全学級に取り付けたい

議員 夏の暑さによる危険度を把握するため危険指数を測定する計器が必要。計器により、体育館や運動場などでの危険度の把握とともに、エアコンの効率的な運用ができるのではないかと。
教育長 購入する方向で考えたい。

村長 民陶むら祭りについては、以前から言われている最大の問題点である。この件については村有地の有効活用等真剣に考えて対応していきたい。ただ、保安林解除は最低でも6カ月はかかるので、善後策を考えていきたい。

議員 村内の歴史的・文化的な物の保管・展示・村外への発信は。
教育長 国指定3件・県指定9件・村指定4件ある。シルバー人材センターや村民と協力して保管、整理をしたい。展示についてはこれから審議をしていく。特に阿蘇第4火砕流の堆積物および埋没樹木は、秋まつりに現地説明会を計画しており、そのPRはしていく。



発見された9万年前の埋蔵木

交通渋滞の緩和について

議員 民陶むら祭りにおいての交通渋滞緩和策として駐車場の整備は必要不可欠であると考え、行政としての対応は。



東峰学園



長澤 貞義 議員

災害により流失した橋の架設経緯は
—— 村長 住民により架けられた

議員 災害により流失した第二鶴橋はどのような経緯で架けられていたのか。

村長 地域住民の出資によって架けられたと聞いている。

議員 第一鶴橋復旧工事の総額は、**災害対策室長** 設計費に900万円、工事費に3000万円を見込んでいます。

議員 地区の方がゴミ出しや公民館へ行くには川向こうの道は通るが、狭くて急坂であり川へ落ちる危険性がある。安全性を考慮し、車で久毛橋の利用を村として勧めてはどうか。

災害対策室長 地区の生活習慣・慣習の中でこの道を通ることが、利便性が高いと聞いている。

議員 災害により流失した黒玉橋はどのような経緯で架けられていたのか。



被災した第二鶴橋

災害対策室長 黒谷バス停対岸の現在空き家宅を中心に架けられたと聞いている。

議員 黒玉橋復旧工事の総額は、**災害対策室長** 設計費が900万円、工事費が3000万円を見込んでいます。

議員 橋がないと一番困ることは、**災害対策室長** ゴミ出しをするのに便利が悪い。



高倉 寛視 議員

古民家再生事業の計画は
—— 企画政策課長 企画会議を行い進めている

議員 古民家再生のために、企画社が入っていると思うが、どのように進めているのか。

企画政策課長 コーディネーターの派遣とプロジェクトの進捗管理をコンサルに業務委託している。その中でコーディネーター、棚田保全委員会、村、進捗管理の委託業者で毎週水曜日に、企画会議を行っている。



竹地区の再生予定古民家

議員 現在のコーディネーターは、本当に村の良さを分かった上で、企画しているのか。地域性、地方性を考えて村民の意識、竹集落の方々の意識を変えられるような、企画はできているのか。5年後、10年後に継続されているような未来が見えているのか。

企画政策課長 東峰村がひびいていくのではなく、今後九州のゲストハウスと連携する提案もされている。この提案を受けた時に、真剣に一緒に都市部の需要や、地域活性化に寄与する事業をやるつもりでいると感づいています。

「文字が大きい!!」

新聞記者から学ぶ議会だより

8月7日に西日本新聞社朝倉支局長の末廣浩氏より「広報紙づくりのポイント」という題目で研修を受けました。

冒頭に講師より「文字が大きいですね」と、高齢者が多い村だからこそこの文字の大きさが良いであろうとの感想をいただき、研修は始まりました。

研修の中では、レイアウトの工夫や、ページの特集ごとの色の使い方、空いた空間や字体の使い方など、新聞記者の目線で技術的なアドバイスを中心にしていただきました。

その中でも、読者は基本的には村民の方々なので、インタビュー記事や連載記事などについては、本人の口調や方言を書いてみるなど。いかに住民目線で記事を書くかについて再認識しました。



研修会の模様は9月8日の西日本新聞に掲載されました

最後に、東峰テレビやホームページの活用など、議会だよりを起点とした他メディアの活用にもチャレンジしていただきたいとの話もありました。時代が印刷物から多様なメディアに変化し、連携の必要性を新聞記者である末廣氏の言葉より強く感じました。

委員会紹介

議会運営委員会



高橋 弘展 議員

長澤 貞義 議員

委員長
伊藤 均 議員

梶原 光春 議員

副委員長
黒川 隆康 議員

オブザーバー
佐々木 紀嘉 議員

提出される議案や議会の会議規則、委員会条例、議長の諮問などの調査・審査を行い、議事の円滑な進行を協議します。

村の大先輩に聴く 働くことが 生きがい



9月の敬老の日にちなんで、小石原奥畑地区にお住まいの泉セイ子さんにお話を伺いました。

泉セイ子さんは泉家の三女として、大正11年1月に小石原で誕生しました。現在96歳。息子夫婦と孫夫婦、ひ孫2人の7人家族という、今の時代では珍しい4世代で暮らしています。セイ子さんは4人兄弟の末っ子でしたが、ご兄弟がご病気等で、泉家を継がれることとなったそうです。

インタビューでは、「デイサービスに行くよりも、畑の草むしりなんかをしていた方がいい」と、働くことが生きがいのセイ子さん。結婚前は家計を助けるために、米五斗(約75Kg)を肩に担いで足場の悪い山道を歩き、仕事場まで運んだそうです。結婚後も営林署の根ざらいの請負や土木現場でも人夫として働かれていたそうです。これまでに大きなケガや病気はほとんどしたことなく、3年前まで畑に出て家族

と農作業をされてきました。

「時代は変わり、生き方や暮らし方も変わってしまった。子どもや孫たちのことは気になるが、口出しはしない」。この日、お宅に訪問した際にも倉庫の前で黙々と畑の仕事をされていました。これからも元気にお過ごしください。

※根ざらい：木の根元の小さな木や草を刈ること

議事録はホームページでチェック!

東峰村HP【<http://vill.toho-info.com/>】へアクセスし、「村議会」ページを開き、右メニューの「議事録・採決一覧」からご覧ください。

スマートフォンの場合は右のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



編集後記

この夏の異常な暑さがようやく収まり、村民の皆様には秋の気配を感じて、少しはほっとされていることと思います。

また、豪雨災害の復旧工事も進み、道路や河川も元の姿を取り戻しつつあります。

これから、季節の変わり目となりますので、ご自愛ください。

村民の皆様にとって読みやすい広報紙づくりに、これからも取り組んでまいります。

議長	発行責任者	副委員長	委員	議会広報特別委員
佐々木 紀嘉	梶原 伯夫	梶原 光春	高倉 寛視	高橋 弘展